

川崎南部病院

Time's

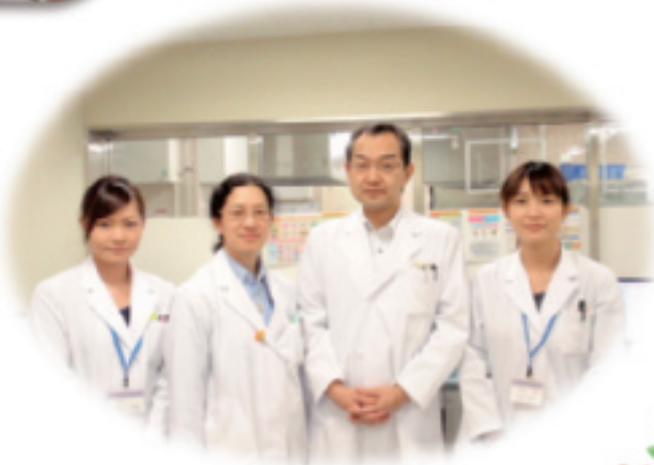
医療社団法人 葵会川崎南部病院

〒210-0822

神奈川県川崎市川崎区田町2-9-1

TEL 044-277-5511

FAX 044-277-5568



栄養科の皆さんです



川崎南部病院竹田副院長就任ご挨拶

川崎南部病院・副院長（消化器外科、腫瘍外科）

竹田 明彦



職歴：

- 1985年 千葉大学医学部附属病院 第二外科 研修医
- 1988年 千葉大学大学院医学研究科・外科学専攻
- 1997年 千葉大学医学部附属病院 第二外科 文部教官助手
- 2001年 テキサス州立大学 M. D. Anderson Cancer Center: Visiting Scientist
- 2003年 東京大学医学部 文部科学教官助手 消化器外科
- 2004年 埼玉医科大学医学部 助教授 消化器外科
- 2008年 国際医療福祉大学大学院 教授 消化器外科
- 2011年 南カリフォルニア大学 Norris Comprehensive Cancer Center: Visiting Scholar
- 2012年 神奈川県済生会平塚病院 副院長・診療部長 消化器外科
- 2014年 医療法人社団葵会 川崎南部病院 副院長 消化器外科

学会活動：

- 日本癌学会 評議員（平成23年～）
- 日本臨床外科学会 評議員（平成16年～）
- 日本消化器病学会関東支部 評議員（平成23年～）
- 日本外科学会：学会指導医、外科専門医
- 日本消化器外科学会：学会指導医、消化器外科専門医
- 日本消化器病学会：消化器病専門医
- 日本がん治療認定医機構：暫定教育医、がん治療認定医
- 日本癌治療学会：臨床試験登録医
- 日本臨床腫瘍学会：暫定指導医
- 日本乳癌学会：学会認定医

専門分野：

消化器外科学、腫瘍外科学、炎症性腸疾患の診断と治療、消化器疾患に対する内視鏡的治療、分子バイオマーカーの開発、癌の分子標的療法の臨床応用、鏡視下手術

自己紹介と赴任のご挨拶：

平成26年2月1日より川崎南部病院に赴任いたしました竹田明彦でございます。専門は、消化管を中心とした消化器外科学、腫瘍外科学、炎症性腸疾患の診断と治療などであり、研究面ではこれまで新規分子バイオマーカーの開発や癌に対する分子標的療法の臨床応用などを手がけてまいりました。当院では、開院以来、消化器関連の臨床科が統合する形で消化器病センターが創

設され、消化器疾患を包括的に取り扱うこととなりました。消化器病センターでは、さまざまな消化器疾患に対し、内科、外科など診療科の枠にとらわれることなく、経験と実績を有する専門医が治療にあたることとなります。特に消化器癌の診療に関しては、診断から手術、インターベンション、化学療法、緩和医療までを一貫して行い、個々の患者様の状況に応じたきめ細かい診療を行っております。私が担当する外科部門では消化器癌のみならず、胆石症、鼠径ヘルニア、肛門疾患などの良性消化器疾患に対する治療も積極的に行っております。また脳梗塞などの嚥下障害などにより食事を摂れない患者様には、積極的に内視鏡的胃瘻造設術や CV ポート造設術を行い、栄養管理のサポートも行っております。今後は近隣の先生方と密接な連携を保ちつつ、川崎市南部地域医療の活性化に貢献すべく営為努力いたす所存でございますので、どうかご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



川崎南部病院透析科部長就任のご挨拶

透析科部長 保坂 義雄



- 昭和 53 年 東京大学卒業
- 昭和 54 年 第 1 種放射線取扱主任者
- 昭和 60 年 東京大学医学博士, 米国 Mayo Clinic 研究留学
- 昭和 63 年 日本泌尿器科学会指導医・専門医及び評議員
- 平成 3 年 日本泌尿器内視鏡学会評議員
- 平成 9 年 日本泌尿器科学会幹事
- 平成 10 年 東京大学助教授医学部附属病院分院泌尿器科長
- 平成 12 年 Infection Control Doctor, 国際医療福祉大学教授
- 平成 14 年 公益財団法人三笠保存会評議員
- 平成 21 年 製薬医学認定医
- 平成 23 年 東京大学医学部医学科同窓会鉄門倶楽部理事
- 平成 26 年 医療法人社団葵会顧問

皆様、始めまして。この度、本年 1 月から川崎南部病院透析科部長に就任致しましたので、御挨拶兼自己紹介を申し上げます。

まだ、私自身着任して間がないのですが、当院は昨年 4 月に旧川崎社会保険病院から川崎南部病院として再出発して 1 年あまりの若い病院です。建物は旧川崎社会保険病院から引き継いで立派ですが、診療体制は現在進行形で充実しつつあり、地域に根差した患者さん本位の医療を目指しております。その一環として、透析医療にも力を入れるため私を始め新しいスタッフが加わり、安心安全な透析を通して地域住民の皆様にご貢献して参りたいと願っております。是非、お気軽に見学にお越しくださいますようお願い申し上げます。

これまで、多くの病院や診療所で常勤ないし非常勤医として透析医療に携わり、透析クリニックの副院長や院長の経験も致しました。その貴重な数々の経験を最大限活かして参りたいと思っております。

因みに、この機会に透析医療に関する私見を一つ申し述べますと、透析は腎機能を失った人々の「命の洗濯」であると思っております。休みなく働く腎臓に障害が起こり十分な機能が果たせなくなった時に、不足した機能を代行し老廃物や有害物質を体内から除去する役割を担い真っ白に洗い上げるものです。しかし、腎障害の進行を食い止める力はないため透析導入後も腎機能の低下は続き次第に真っ白にならずシミが残るようになりますが、自覚症状がないため透析時間の延長の必要性が分かりにくいという問題点があります。極端な例を挙げますと、事故で瞬時に正常な腎臓を二つとも失う場合がありますが、それでも食事に注意し薬物療法を厳守すれば週 3 回各 4 時間の透析で良好な生活を送ることができます。従って透析導入当初は回数や時間が少なくても残腎機能の低下に伴って週 3 回各 4 時間まで延長すれば間に合うということになります。シミが残るようになるかどうかは定期検査で知ることができます。自覚症状がない内に時間延長することに抵抗感を覚える患者さんが多くいらっしゃるのですが、自覚症状が出てからでは予後不良となるため遅いのです。真っ白な洗濯を続けるため患者さんに寄り添い共に歩む透析医療を心掛けて参ります。

最後に、周辺医療機関の方々とも様々な御縁を通じて協力関係を築いていきたいと願っております。特に、透析医療は大災害時であっても止める訳にはいかないという事情があります。日頃の医療機関相互の交流や情報交換を基盤に災害時の連携構築を模索していくことは大切なことと考えております。

川崎南部病院新任医師ご紹介



名 前：泉 史隆
出身大学：千葉大学 医学部
専門領域：糖尿病
趣 味：読書

本年1月より糖尿病・代謝内科医師として新任致しました、泉 史隆 です。

地域医療に貢献し、最良の診療と実践を目指して、微力ながらも貢献できるよう努力してまいります。

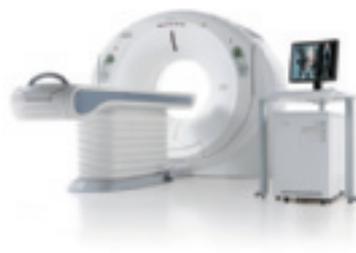
どうぞよろしくお願いたします。

※ 泉先生の外来は毎週月曜日午前と金曜日午後になります。

放射線科検査機器最新情報



MRI Signa HDxt1.5T



マルチスライスCT64列
Aquilion / CXL Edition

当院では積極的に最新の検査機器を地域の医療機関の先生のご依頼で共同利用を行っております。マルチスライスCT64列では従来では難しかった、心臓の精密な検査が可能となり、広い撮影範囲を短時間で行うことができ、患者様の負担を最小限に抑えることが出来ます。

また、2月より新たなMRIを導入し、2次元領域はもちろん3次元領域での診断が可能となり、今までの検査時間でより精密な撮影が行えます。当院では遠隔読影システムを平成26年4月より導入しており、撮影翌日には読影結果をご報告できるシステムを採用しております。

なお、当日CD-Rを患者様にお渡しすることも可能なため、ご予約の際にお電話にて賜ります。

※ 読影が必要な場合は、お問い合わせください。

栄養科のご紹介

私たち栄養科は「診療支援部門」という、治療を支える役目を持った部署です。当院は管理栄養士4名、業務委託職員30名で構成されています。

仕事は大きく分けて「給食管理業務」と「栄養管理業務」の2つになります。

給食管理業務は、ほとんどが厨房での仕事です。献立作成から始まり栄養成分の調整、食品の発注、食品の衛生管理、調理、配膳まで365日途切れることなく続きます。病院の食事は患者様の体の状態に合わせ、米飯食・全粥食・分粥食・流動食などの食事の形態だけでなく、エネルギー・たんぱく質・脂質・塩分・水分・食物繊維などを調整した治療食もあり、体の状態にあった「安全」で「美味しい」食事を提供できるよう日々努力しております。また、春・夏・秋・冬などの季節感や、節分やひなまつりなどの行事食も実施しています。

栄養管理業務は、患者様個々の食事や栄養剤の投与量がその方にとって適正なものになるように管理していく仕事です。身長・体重・年齢・活動量・疾患・体調など個人の栄養状態を左右する要素は数多くある為、現在の問題点を見極めて対処する必要があります。食事の摂取量や健康維持管理上必要な栄養量に合わせ、食事量の調整や内容の変更等も検討し調整を行っています。また、食事だけではなく栄養剤の管理も、ほとんどが栄養科の仕事となっております。そして栄養食事指導では、「自分の体に合った食事を美味しく食べる工夫」を患者様本人や家族の方などにアドバイスさせていただいております。「食事療法」というと「美味しいものが食べられなくなる」「味気ない食事にしなくてはいけない」など、マイナスのイメージが強く、嫌がる方も多いですが、美味しく食べていただく工夫をアドバイスさせていただくことが栄養食事指導の基本と考え、心がけております。

栄養指導は疾病がある患者様に対して医師からの指示で実施いたしますが、入院中の食事についての質問はいつでもお答えいたします。お声かけください。

最近、食事に対する関心が低い方が多く、ご自分が何を口にしているのか意識していない方が増えてきているようで悲しくなります。特に糖尿病などの慢性疾患では食事を意識すること、食生活を見直すことが健康管理・疾病治療への第一歩になります。「医食同源」というように身体を作る材料である食事のこと、食品や栄養素のことをもっと知っていただきたいな、と思っています。



栄養科 安藤 加葉

《編集後記》

5月の大型連休も終わり、梅雨入り宣言が気にかかる時期となってきました。過ごしやすい時期かと思いますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

大型連休といえば「昭和の日」「憲法記念日」「みどりの日」「こどもの日」となっていますが、この中の「こどもの日」の本来の意味を御存じでしょうか？

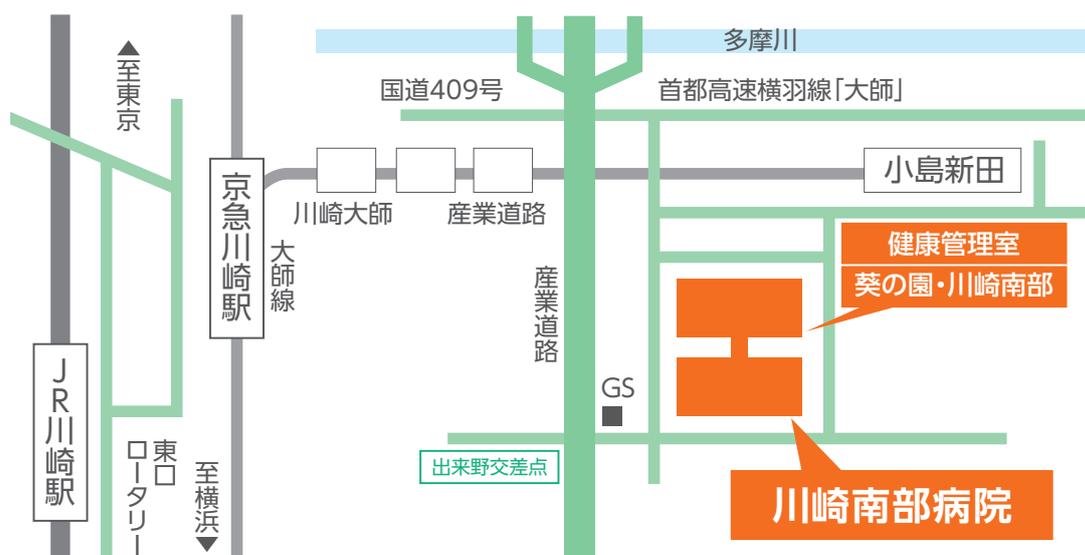
小さいころに、「こどもの日は子供を大切に作る日だから、どこかに連れて行って」と言ったとき、母親から「こどもの日は母親に感謝する日でもあるんだけど、なにをしてくれるの」と言われ、辞書で調べた記憶があります。5月は母の日もあるのに・・・と子供ながらに不公平さを感じたのを、この時期になると思い出します。



広報委員



(広報委員一同)



京浜急行川崎駅で大師線(3番ホーム)に乗り、約10分。
終点・小島新田で下車し、徒歩3分。

※駐車場に限りがありますので、ご来院の際はなるべく電車など公共の乗り物をご利用くださるようお願いいたします。

